



平成28年度沼田市子ども議会
ふるさと沼田・未来創造議会 開催
11月5日(土)

今年から市内各小中学生のほか、利根沼田地区の高校生を加えて、15回目の開催になりました。当日は、一般質問形式と同様の形式で進められ、全30人の児童・生徒が参加しました。子ども議員の皆さんは、大変緊張しながらも、堂々と質問し、市長や教育長の答弁に耳を傾けました。質問と答弁の内容は市のホームページに掲載しています。



参加者に振る舞われた
沼須ねぎみその焼きおにぎり

伝統野菜「沼須ねぎ」で交流
沼田市民ふれあい農園収穫感謝祭
11月15日(火)

利用者同士の交流や農業への理解を深めてもらおうと、沼田市民ふれあい農園で収穫感謝祭が行われました。会場では、現在12人ほどが生産している、沼須ねぎを中心とした料理の試食が行われ、沼須ねぎ生産者組合会長の星野さんは、「寒さに強く、甘みが強いのが特徴。味も抜群なので、多くの人に知ってもらいたい」と語りました。

利根沼田のブランド米をセット販売
利根実業高校「戦国米セット」販売開始発表会
11月1日(火)

利根沼田を「おいしいお米の産地としてPRしたい」と食品文化コース3年生4人が企画。地域内の各ブランド米6種を1セットに、「真田丸」にあやかした六文銭模様をデザインして販売を開始しました。ブランド米と観光用の各パンフレット、おまけの黒米を同梱し、お米と地域の魅力を合わせて発信しています。今後は道の駅などへの設置を検討し、一層の周知が図られます。



出会いを応援
真田コンin上州沼田
11月12日(土)

同日開催の上州沼田真田まつりに合わせ、歴男・歴女が楽しめる交流イベントとして、20から40歳代の独身男女を対象に開催されました。参加者らは事前に記入した自己紹介カードを片手にあいさつを交わすと、食事を楽しみながらまつりや好きな戦国武将を話題に交流。市の名産品や真田グッズが当たる抽選会も行われ、会場は盛り上がりました。



食事はピュッフエスタイル
盛り付けながら会話を楽しむ人もいた

YOROZU よろずとーく 113 TALK

上州沼田真田丸展
入場券販売管理センター長
高橋 利男 さん
Toshio Takahashi

大河ドラマ真田丸の世界を通じて、当時の沼田の重要性や真田丸展の重要性を伝える上州沼田真田丸展。展示内容を更新しながら順調に入場者数を伸ばし、11月には14万人にまで達した。「ドラマは沼田の魅力的な歴史を上手く掘り下げてくれました。真田家の重要な拠点として、全国に発信されたと感じます」話すのは高橋利男さん。真田丸展の現場責任者としてスタッフ18人をまとめている。「本編は大阪に舞台を移してありますが、お客さんには変わらないペースでお越しいただいています。「沼田は真田の里」というイメージが世間に浸透したのでしよう。



沼田を治めた真田信之の正室、稲(小松姫)役の吉田羊さんが着用した貴重な甲冑

「地元の人にも驚くことが多かったと思います。沼田にこんな歴史があったのかと。地域の魅力を肌で感じる、またとない機会です。ドラマでどう描かれたか、ぜひ振り返ってみてください。ふるさとの自慢として誇りに感じるはずですよ」

地元の皆さんにこそ
ぜひ、お越しいただきたいですね



うれしいですね。来場者の様子からも手応えを感じます」11月の上州沼田真田まつりは、2日間で3300人以上が訪れた。ドラマ展の営業は来年3月末まで。年内のドラマ終了を踏まえて今後を尋ねた。「放送終了を惜しむファンは多くは、もう少し真田丸の世界に浸りたい、そんな人に来てほしいですね。ドラマが終わっても沼田で楽しめるぞ」とまた、市外からの来場者が多いことも振り返り、若い人など近郊の人に訪れてほしいと話す。

消防団員紹介 No.16

地域の守り手として活躍する消防団員の皆さんをご紹介します。

市消防団では多くの入団希望者を募集しています。
問い合わせ 市消防団本部(防災対策課消防係内)☎内線3363へ

沼田市消防団 第5分団(川田地区)分団長 深代豊さん

第5分団分団長の深代です。川田地区の皆さん、日頃から消防団活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。当分団は現在79人で活動しています。普段の活動は大会に出場するための操法訓練、火災の際に必要な備品や水利の点検、そして夜警など火災や災害以外にも定期的に活動しています。私たち第5分団では、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。一緒に地域の安心・安全のためにがんばりましょう。



ぬまたフオートむすび

